

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		友好都市交流事業						予算事業名		友好都市交流事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分					
				10	05	03	2005	経常経費	根拠法令				
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文						事業の区分		主要事業			
		4-6国や地域を越えた交流の推進(国際交流・地域間交流)											
		②地域間交流の促進						担当課係等		生涯学習課			
1姉妹・友好都市との交流の推進						生涯学習係							
事業期間		継続(平成14年度～平成32年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
結城市の子どもたちが結城市の歴史や文化を知り、さらに福井市との関わりや福井市の歴史や文化等を学び、福井市の子どもたちとの相互交流を図る。様々な体験、交流活動を通し、積極性や協調性を養い、結城を担うリーダーを育成する。							結城市と福井市の歴史的な繋がりを縁として、平成14年4月に友好都市締結が行われ、その年の7月から小学生相互交流が始まった。また、実施主体が福井市では子ども会ということで、平成22年度から担当課が指導課から生涯学習課へ移管された。						
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】						
・友好都市の相互訪問を通し、結城市と福井市の歴史的な関わりを学ぶ。 ・藍染や機織りなど様々な体験をすることで、歴史や文化に触れる。 ・共同作業、宿泊をともにすることにより、子ども同士の交流を深める。 ・事前、事後学習会及び事業実施報告作品展を行い、事業の効果的な実施と広報を図る。 ・子ども親善大使任命書を交付し、親善大使としての意識づけを行う。							市内小学6年生						
							【事業をとりまく環境の変化】 事業の在り方については、福井市と調整、検討している。						
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】					
結城市福井市の子ども親善大使各8名の相互訪問による交流 事前・事後学習会の実施 事業実施報告展示会の開催				結城市福井市の子ども親善大使各8名の相互訪問による交流 事前・事後学習会の実施 事業実施報告展示会の開催				結城市福井市の子ども親善大使各8名の相互訪問による交流 事前・事後学習会の実施 事業実施報告展示会の開催					
■事業費													
				H29年度		H30年度							
財源内訳	国庫支出金			0		0							
	県支出金			0		0							
	地方債			0		0							
	その他			0		0							
	一般財源			636		676							
歳入計(千円)				636		676							
歳出内訳	節(番号+名称)				金額(千円)		金額(千円)						
	09 旅費				123		157						
	11 需用費				4		10						
	19 負担金補助及び交付金				509		509						
歳出計(千円)(A)				636		676							
伸び率(%)						6.28							
備考	総合計画129ページ 予算書171ページ												

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	実施日数	日	目標	9.00	9.00	9.00
			実績	10.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	参加児童数	人	目標	8.00	8.00	8.00
			実績	8.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	互いの市の文化や歴史への理解を深めるためには、子どもたちが友好都市との交流に取り組むことは必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	市子連に委託し、事業を行ってもよいが、現状を考えると、行政が実施主体とならざるをえない部分もある。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	実施日については、福井市と協議して決定するが、結城市での交流日は夏祭りと重なるように設定しており、福井市から好評である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	参加者も費用の半額程度を負担している。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	市内小学6年生を対象としているが、募集人員が8名と限られてしまっている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	事業後も手紙の交換等、交流が見られる。事業実施前に比べて、能動的に動けるようになったと報告もある。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	計画通り進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
参加者の様子や感想等を見ると、子どもたちにとってこの事業が効果的であったと評価できる。事業が、より市民に浸透するよう、周知方法を検討していかなければならない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
事業の在り方について、福井市と同時に、市子連とも、調整・検討していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） この交流事業により、子どもたちが結城市と福井市の歴史や文化、さらに、福井市との関りが学べ、体験や交流活動を通し、将来の結城を担うリーダーの育成が図れるよう、福井市と調整・協議し継続していく。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。